

# 合同現地地点検の実施報告

国土交通省 中部地方整備局  
静岡国道事務所  
沼津河川国道事務所  
浜松河川国道事務所

# 合同現地点検

## ①令和6年度 合同現地点検の実施

### 現地点検概要

#### 日時

令和6年11月8日（水）13:00～

#### 現地点検箇所

- (1) 浜松市 中央区 飯田町地区  
(ゾーン30プラス箇所)
- (2) 国道1号 同心橋東～国本間  
(事故危険区間 追加対策検討区間)

### 現地点検参加者

- 埼玉大学大学院名誉教授
- 静岡県警
- 国土交通省
  - 静岡国道事務所
  - 沼津河川国道事務所
  - 浜松河川国道事務所
- 静岡県
- 静岡市
- 浜松市

### 現地点検行程及び現地点検風景

現地点検箇所概要の説明  
(交通状況・事故状況等)



現地点検の実施 箇所(1)



現地点検の実施 箇所(2)



意見交換・講評



# 合同現地点検

## ②浜松市 中央区 飯田町地区（ゾーン30プラス箇所）

### ■合同現地点検 箇所概要

- 飯田町地区は、R5.12にスムーズ横断歩道および交差点ハンプを設置。
- 対策後に効果検証を行っており、スムーズ横断歩道設置箇所では平均8km/h、ハンプ設置箇所では平均4km/hの減速が確認されている。

### 浜松市中央区飯田町地区\_現地点検ルート



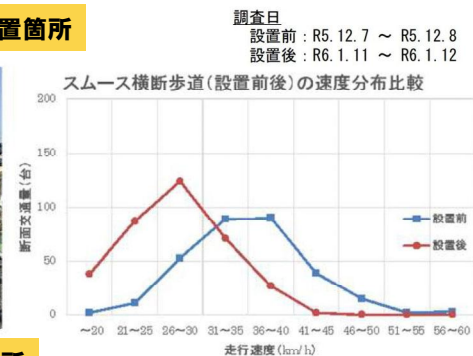
No.	点検箇所	整備時期	対策目的
①	交差点ハンプ (既設)	R 1.11	市道飯田56号線 ・速度抑制 ・交通量抑制
②	スムーズ横断歩道 (新設)	R 5.12	市道飯田37号線 ・速度抑制 ・交通量抑制
③	交差点ハンプ (新設)	R 5.12	市道飯田56号線 ・速度抑制 ・交通量抑制
④	狭さく (新設)	R 5.12	市道飯田56号線 ・速度抑制
⑤	時間帯交通規制 (歩行者専用) 未実施	未定	市道飯田61号線 ・交通量抑制

※ その他、各種安全対策を実施

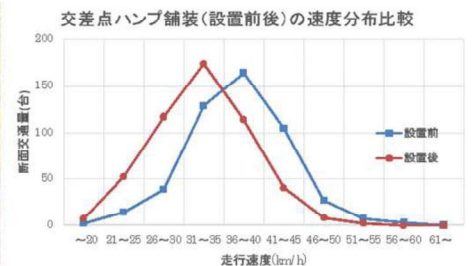
- ⇒ 路側帯の拡幅
- グリーンベルト引き直し
- 交差点クロスマーク設置

### ■速度分布調査結果（デバイス設置前後比較）

#### ② R5.12 スムーズ横断歩道設置箇所



#### ③ R5.12 交差点ハンプ設置箇所



# 合同現地地点検

## ②浜松市 中央区 飯田町地区（ゾーン30プラス箇所）

### 合同現地地点検 講評より

#### 当該エリアに関する意見

静岡国道：新設ハンプ箇所の前後には「この先凸部あり」のSL看板が設けられているが、あの看板は仮設なのか本設なのか。

浜松市：SL看板が設置されている現在の状態を完成形と考えている。

浜松市：龍泉寺の東側の「時間帯交通規制」に関しては周辺地権者との協議が難航している状態にある。龍泉寺利用者も通行しており「許可証を発行する」等の案も出ているが実現には至っていない。

浜松市：地域住民からの評判も良好で、対策前後の速度分析でも良好な結果が見られた。

静岡県：ハンプの設置位置はどのように考えているのか。他市町のゾーン30プラスも抱えている静岡県の立場として、道路の入口部に設けるか、それとも中間部に設けるかの考え方の参考としたい。

久保田教授：今回の設置位置は良い事例である。入口部にハンプを設け、更に中間部に設けると効果的ではあるが、騒音の課題から苦情が発生するケースもある。

静岡国道：現場ごとに必要な対応も変わるので、何かあれば遠慮なく相談していただきたい。

#### 久保田教授による総評

- ・このエリアはとても良い事例になると感じる。静岡県はゾーン30プラスへの取り組みが先進していると日本中に知られている状況にあるなかでますます良事例になる。
- ・地元利用者からの評判も良好という話であり、対策後のデータ分析でも良い結果が見られるのは喜ばしいことである。
- ・龍泉寺東側の「時間帯交通規制」については今後、何かしらの問題が発生した際に対応をするという形をとれば充分であると考えている。

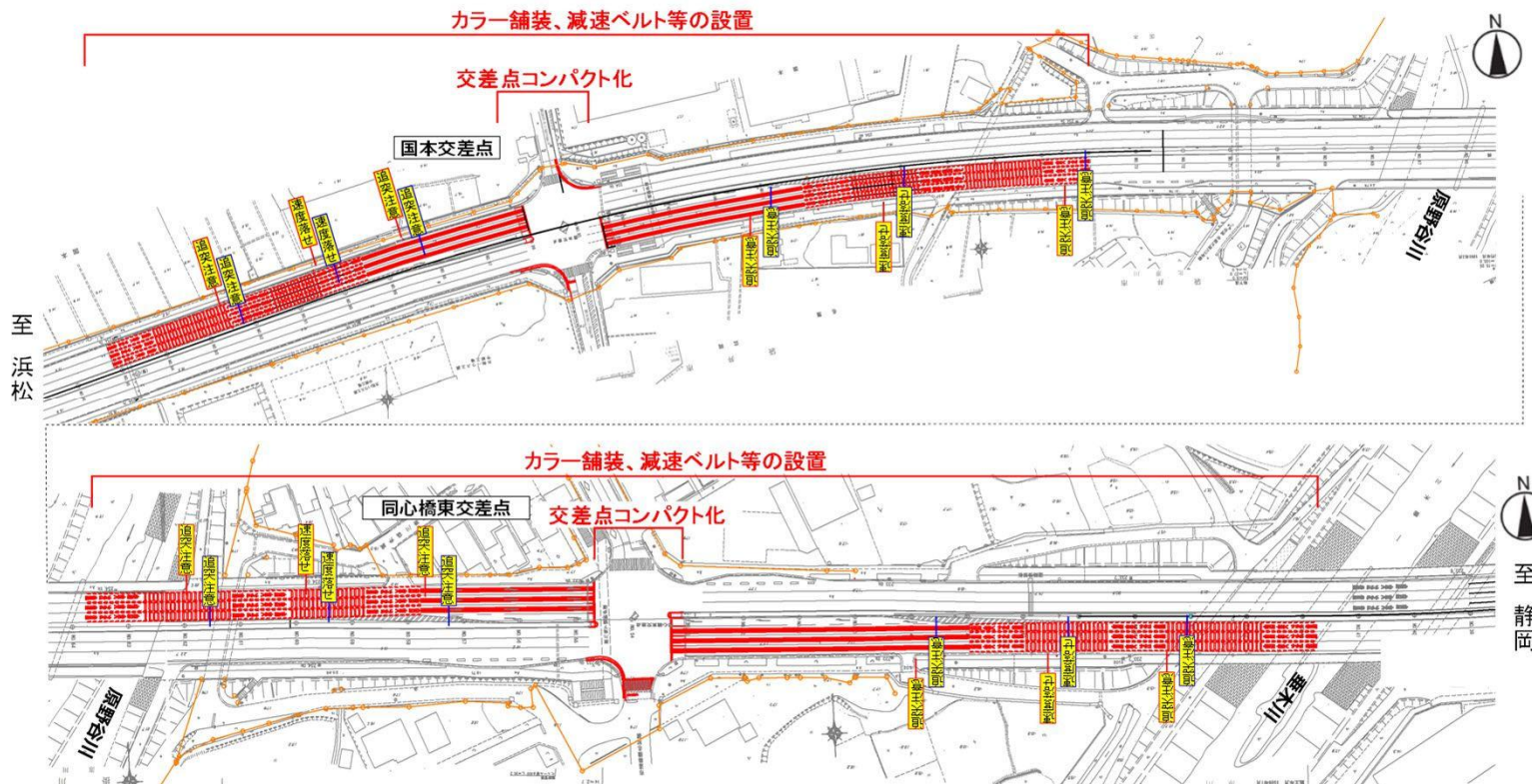
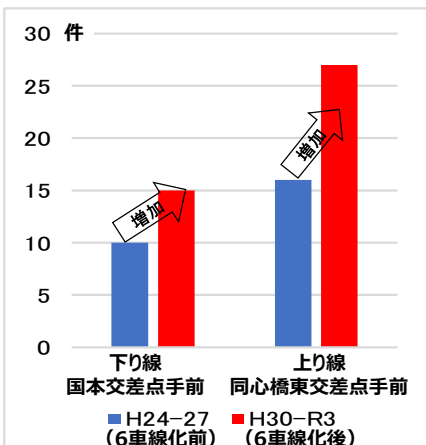
# 合同現地点検

## ③国道1号 同心橋東～国本間（事故危険区間 追加対策検討区間）

### ■合同現地点検 箇所概要

- 袋井BP平面区間は、H28.1の6車線開放による走行速度の上昇や交通量の増加など交通環境が大きく変化し、対策後も事故が増加傾向。
- 同心橋東～国本区間は他交差点と同様に事故が多発している他、当該区間は渡河部の下り坂構造による構造的な課題を有するため、さらなる交通安全対策が必要。
- 交差点コンパクト化により停止線付近の危険挙動を抑制する他、下り坂による速度超過に対しては減速ベルトなどソフト対策による走行速度の抑制を図ることで、事故・危険事象の解消を図る。

●国本・同心橋東交差点付近の事故増加状況 ●対策検討図



事故発生位置	想定される事故要因	対策	対策の狙い
交差点手前の追突事故	・速度が高い中、交差点手前で信号切り替わりタイミングにおける前方車両の停止挙動に間に合わず追突	カラー舗装・減速ベルト（点滅灯） 注意喚起看板	・交差点手前の単路区間（下り坂区間）に対して注意喚起を行うことで交差点進入速度を抑制
		交差点コンパクト化（停止線前だし等）	・進入速度を抑制した上で、停止線の前出しによる無理な交差点進入などの危険挙動を抑制し、追突事故を抑制

# 合同現地地点検

## ③国道1号 同心橋東～国本間（事故危険区間 追加対策検討区間）

### 合同現地地点検 講評より

#### 当該エリアに関する意見

浜松河川国道：対策メニューについてはAR技術を活用し、現在の風景に対策案の3次元モデルを重ね合わせて眺めることができるので観覧頂きたい。

浜松河川国道：合同現地地点検の前にも自治体と所轄警察を交えたプレイアアップも行っており、対策内容についても一定の理解を頂いている。

浜松河川国道：交差点部では「地下横断歩道の屋根部分」が歩行者信号への視認を妨げるとの意見もドライバーから頂いているが、これに対しては対向車線側の歩行者用信号も確認可能であり、対応可能な範囲は限られる。

静岡国道：コンパクト化の中で「停止線の前出し」に関してはもう少し前に出すことが出来るのではないか。それとも何かの基準で決まっているのか。

浜松河川国道：停止線の位置は車両走行軌跡を用いて巻き込み部の確認をし、コンパクトになるよう検討をしている。

#### 久保田教授による総評

- ・対策の難しい区間と考える。インパクトのある対策でドライバーに対して“普通の道ではない”という事を示すことで安全性の向上を狙いたい。効果に期待をしている。